

■桂庵玄樹 臨濟宗の禅僧。薩南学派の祖。日本儒学史上に画期成し、雪舟にも影響を与えた。

けいあんげんじゅ

・・・・・・1427= 周防山口に生まれた。

義教籤引將軍1428= 1歳：

・・・・・・1435= 8歳：_南禅寺雲興庵の惟肖得岩らについて修学，
・・・・・・1436= 9歳：

永享の乱始・1438=11歳：

嘉吉の乱・1441=14歳：

・・・・・・1442=15歳：_剃髮・受戒後，

・・・・・・1445=18歳：_豊前万寿寺の景蒲玄忻に師事して，その法を嗣ぐ。

また，建仁寺の惟正明貞，東福寺の景召瑞棠などに参じ，儒学の講説を受けた。

_その後，長門の永福寺に移り，

享徳の乱始・1454=27歳：

・・・・・・1463=36歳：

応仁の乱始・1467=40歳：_大内船正使天与清啓の遣明使に随行して入明し，

・・・・・・1472=45歳：

足利義政隠居1473=46歳：_帰朝するが，当時，京都は応仁・文明の乱の最中で，京都に帰ることなく石見に乱を避ける。

・・・・・・1476=49歳：_筑後(福岡県)に入り，同地の二尊寺に止宿。

応仁の乱終・1477=50歳：_肥後(熊本県)菊池に移り，菊池氏の主催する積奠の式に参列。

・・・・・・1478=51歳：_*島津忠昌の招きにより薩摩へ移り，竜雲寺に住していたが，
_その後，島陰寺(桂樹院)をはじめとして，日向の安国寺，竜源寺などに移り住する。

兼良+一休没 1481=54歳：_*国老伊知地重貞とともに「大学章句」を刊行し，

_桂樹院で，儒書を講ずるなど，薩摩の儒学の興隆にも尽力，のちの薩南学派の祖となる。

山城国一揆・1485=58歳：

加賀一揆支配1488=61歳：

足利義政没・1490=63歳：

建仁寺，南禅寺の公帳も受け，

蓮如没・・・・1499=72歳：

・・・・・・1501=74歳：_「家法和点」，

・・・・・・1502=75歳：_*薩摩に東帰庵を営んで，同地に住み，

義植入京將軍1508=81歳：_没した。

「桂庵和尚家法倭点」「島隠集」。